

ながまち荘

VOL 54

だより



ヤッパヨ一
マカヨ一

夏パーティーの様子は
中ページにも！
ぜひご覧下さい！



ホし、一緒に
シヤシヤ
シヤシヤ

編集発行

社会福祉法人 済生会支部山形県済生会 特別介護老人ホーム **ながまち荘**

〒990-0811 山形市長町751番地

■指定介護老人福祉施設 TEL(023)684-2391(代表) FAX(023)684-2394

■指定短期入所生活介護事業所 (介護予防短期入所生活介護事業所) TEL(023)681-5732

■指定通所介護事業所 (介護予防通所介護事業所) TEL(023)681-7589

■済生会なでしこ地域包括支援センター

TEL(023)681-7450 FAX(023)681-7603

■指定居宅介護支援事業所 TEL(023)681-2865

■おれんじサポートチームえがお
(認知症初期集中支援業務・認知症地域支援推進業務)
TEL(023)687-0200 FAX(023)687-0211

発行責任者 施設長 岩崎勝也

発行日 令和5年8月

印刷 コロニー印刷

新施設長挨拶



特別養護老人ホームながまち荘
施設長 岩 崎 勝 也

常日頃より、当施設の事業運営についてご理解と多大なるご支援を賜り、心よりお礼と感謝を申し上げます。前任の峯田施設長の後任として令和5年4月1日付けで、ながまち荘第6代目の施設長に着任いたしました岩崎勝也(いわさき かつや)でございます。大役を仰せつかり、その重責をひしひしと痛感しているところでございますが、ながまち荘開所以来脈々と引き継がれてきた「ながまち荘のDNA(特色)」を守り、更にその取り組みを深化・発展させていきたいと考えております。

私は、平成6年に山形県済生会に入職し、その後29年に亘り、ながまち荘二筋で介護職、相談援助職、管理職の経験を積み現在に至りますが、これまで私自身が長年培った経験と専門職としてのスキル、職員全ての衆智、そして済生会のスケールメリットを活かし、利用者の皆様の生活がより豊かで、充実したものとなりますよう誠心誠意、心のこもった温かい支援に努め、質の高い介護サービスの追求をし続けていくとともに、社会貢献に資する事業にも注力し、地域社会から信頼され、愛される施設づくりを目指していきたいと考えております。

社会福祉法、老人福祉法及び介護保険の理念である利用者の「自立支援」と「尊厳の保持」を基本に、済生会創設の理念の実現に向けて職員一丸となり、ナンバーワン・オンリーワンの先駆的な取り組みを更に推進して参りますので、何卒ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

山形県済生会特養の

パンフレットを作成しました!

山形県済生会には4つの特別養護老人ホームがあります。この度、愛日荘・やまのべ荘・ながまち荘・山静寿を紹介するパンフレットを作成しました。

各施設の特色、対応可能な医療行為、利用料金など、施設間の比較をしながらご覧いただける内容となっております。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で、なかなか施設内を見学いただくことが難しい状況が続いているため、施設の様子を動画にまとめました。QRコードを読み込んでいただくと、施設の外観や内装、暮らしの様子が視聴いただけます。ぜひご覧ください。

パンフレットの表紙



パンフレットをご希望の方は、当施設窓口までお声がけください。お電話いただければ郵送も可能です



～設備～



～暮らし～



副主任介護職員
伊藤 雄太

ヒアリングフレイルという言葉を知っていますか？「ヒアリング＝聴きとる力」「フレイル＝衰え」つまり**聴き取る力の衰え**の事を言います。今回はヒアリングフレイルが及ぼす影響、対策等についてご紹介します。



こんな症状の方はいませんか？それ、**ヒアリングフレイル**かも

- 話しかけても以前より反応しなくなった
- 部屋に引きこもりがちになった
- 大好きだったテレビをみなくなった
- 外出する事が億劫になった
- 以前よりも怒りっぽくなった
- 以前に比べ会話が難しくなった

難聴は認知症の最大発症リスク

聴こえないと

- ・コミュニケーションがうまくいかず周囲から孤立してしまう。
- ・活動意欲が低下し引きこもりがちになる。
- ・会話が難しくなり、周囲から「認知症」と勘違いされる。
…など社会生活を送るうえでたくさんの弊害をもたらします。

また、音の刺激や脳に送られる情報が少なくなる事で脳の萎縮や神経細胞の弱まりが進み認知症の発症に大きく影響すると言われています。



ヒアリングフレイルに気付いたら

- ① 耳鼻咽喉科医に相談し、耳の状態を詳しく検査してみましょ。
- ② 認定補聴器専門店で補聴器の購入や調整を検討してみましょ。

ヒアリングフレイルを放っておくと、心身の活力の衰えが進み、うつ症状や認知症となるリスクが高まります。**「まだ大丈夫」ではありません！** あれ？と思った時が相談のタイミング。補聴器を装着するタイミングが遅れると、急にいろんな音が聞こえるようになり違和感が大きく、補聴器に慣れるのにとても時間がかかってしまいます。**ポイントは難聴の程度が軽いうちから補聴器を使用する事です。** 早期の補聴器使用で言葉を聞き取る能力を維持でき、日常生活に安心感が保てます。また耳の細胞の損傷が少ないうちから補聴器を使用する事で高い補聴効果が得られます。

全職員

5月11日、TUYの取材を受けました！

山形市では「聴こえくつきり事業」を展開し高齢者の聴力低下の予防・早期発見に取り組んでいます。当荘ではこの日デイサービス利用者様に「みんなの聴能力チェック」というアプリを使って言葉を聞き取る能力をチェックしましたが、自分では聞こえているつもりでも実際には聞き分けられない音がある事が分かりました。この取り組みにより聴力低下予防・医療機関の早期受診等に繋がる事はもちろん、適切な方法でコミュニケーションを取れるようになり、職員の介護の質の向上も期待できると考えています。



ヒアリングフレイルサポーター養成講座を受講していきます！

ヒアリングフレイルサポーターとは、聴こえの課題をきちんと理解し難聴のリスクとその対策方法を伝えていく人です。当荘では障害者生活支援体制加算を算定しており聴覚障害者の受け入れも積極的に行っています。今後は聴覚障害者の支援体制の強化を図る為、全職員がヒアリングフレイルサポーター養成講座を受講していく予定です。

バスドライブ

コロナ対策が緩和されたこともあり、ながまち荘でも観桜ドライブに。場所は霞城公園や護国神社、立谷川の芝桜など。皆さん、久しぶりの外出ドライブを満喫されていました。

きれいだねえ～



外出最高!!



おっきく
育てよお～



かぼちゃ収穫!
重たいよお～



さつまいも育ったら、
何して食うべ♪

園芸療法(苗植えと収穫)

今年はさつまいも、かぼちゃ、きゅうり、トマトを植えました。きゅうりは収穫できるようになり、浅漬けにして味わっています。

夏パーティー

夏を感じていただくために、かき氷やアイスを用意しました。どの味がいいか皆さん迷いながらも選んでいました。夏パーティーの締めくくりはやはり花笠音頭。歌を口ずさんだり手拍子したり、笠を持って踊ったり。それぞれの楽しみ方で夏パーティーを堪能しました。



ヤッショーマカショ
シャンシャンシャン♪



デイサービス

(通所介護)

7月7日、デイホールにハーモニカの素敵な音色が響き渡りました



ご利用者様による
ハーモニカコンサート♪



みんなに
喜んでもらって
嬉しかったな♪

リハビリ

身体を動かすと
リフレッシュしますよ〜っ!



1・2・3・4・5♪

まだまだ
若いらんね!



伸びてますかーっ!?



夏の壁飾り



細かい作業が大得意!



すごい集中力!!



おいしいスイカの出来あがり♪



将棋
本気の
勝負!!

余暇時間



100ピースの
パズルに挑戦!!

細かくて
...大変!



ショートステイ

(短期入所)

*ショートステイでは、利用者様
お一人ずつ何に興味があって、
何が得意か知る事を大切にしています。

体操の時間



ココロとカラダの健康を目指して体操に取り組んでいます。
感染症に配慮しながら行っております。

壁画作り



毎月、利用者様と一緒に季節の壁画を製作しています。
屋内でも季節を感じていただける工夫をしています。

レクリエーション活動



手作りのピンでボーリングをしました。
ゲームは一体感があって盛り上がります!!



夏パーティー

ケアマネの役割を 知ってもらいたい!

居宅介護支援事業所のケアマネジャーの役割が簡単に分かる利用者向けのリーフレットを作成しました。

これまで、利用者様やご家族からケアマネジャーが行う業務以外の事を頼まれたり、逆に重要な連絡がいただけなかったり...というような事が多くありました。事業所としてケアマネジャーの仕事伝える機会が十分になかった為、利用者様やご家族がその役割を理解する事はなかなか難しかったと思います。

このリーフレットは、できるだけ簡単にケアマネジャーの役割が分かるように、文言、レイアウト、イラストを自分達で作成しました。これを用いて説明する時間を設ける事で理解の促進を図ることができ、援助者と利用者様の間により気持ちの良い関係が築きやすくなると思います。

(居宅介護支援事業所)



『ながいき元気くらぶ』で めざせ元気な体づくり!

済生会なでしこ地域包括支援センターでは、出羽・大郷・明治・千歳地区の65歳以上の方を対象に、毎年介護予防講座を行っています。

今年度は、山形済生病院との共催で、地区のコミュニティセンターを会場に、全6回、計64名のご参加を頂きました。講座では地域の専門職の方から、がんや認知症予防に関するミニ講話をしていただいた他、健康増進センターめぐみの健康運動指導士の方から、普段の生活で行える運動を教えて頂きました。講座終了後は、健康相談コーナーも設け、病院の相談員の方より相談にのってもらえます。参加者の方々が、声を出しながら真剣に楽しく運動に参加されている姿が印象的でした。また参加者の中には、各コミセンに足を運んでくださる方もおり、健康への意識の高さに驚かされています。

来年度以降も、地域の方が住み慣れた地域で元気に暮らせるよう介護予防講座を開催していきたいと思えます。またなでしこ地域包括支援センターでは、介護や運動に関する相談等もお受けしていますので、お気軽にご相談ください。

(なでしこ地域包括支援センター)



令和4年度ながまち荘決算状況

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

資金収支計算書

(単位:円)

事業活動収入	618,308,492
事業活動支出	628,374,339
事業活動資金収支差額	-10,065,847
施設整備等収入	201,300,000
施設整備等支出	298,431,064
施設整備等資金収支差額	△ 97,131,064
その他の活動収入	150,281,057
その他の活動支出	5,076,992
その他の活動資金収支差額	145,204,065
当期資金収支差額	38,007,154
前期末支払資金残高	170,907,912
当期末支払資金残高	208,915,066

事業活動計算書

(単位:円)

サービス活動収益	617,666,473
サービス活動費用	660,301,055
サービス活動増減差額	-42,634,582
サービス活動外収益	923,076
サービス活動外費用	546,223
サービス活動外増減差額	376,853
特別収益	0
特別費用	656,010
特別増減差額	△ 656,010
当期活動増減差額	-42,913,739
前期繰越活動増減差額	271,669,706
次期繰越活動増減差額	228,755,967

貸借対照表

(単位:円)

資産の部	
流動資産	230,834,852
基本財産	326,281,089
その他の固定資産	209,296,433
資産の部合計	766,412,374
負債の部及び純資産の部	
流動負債	53,205,846
固定負債	174,807,748
負債の部合計	228,013,594
国庫補助金等特別積立金	309,642,813
次期繰越活動増減差額	228,755,967
純資産の部合計	538,398,780
負債の部及び純資産の部合計	766,412,374

※財務諸表の詳細については、ながまち荘事務室において閲覧できます。

編集後記

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが2類から5類へと移行し、世の中の感染症対策も緩和されてきました。しかしその後も感染者数は緩やかに増え続けており、特に高齢者施設や病院では今も気の緩められぬ日々が続く状況にあります。

今後も感染症対策には十分留意しながら、利用者様に楽しんでいただける行事も少しずつ再開・企画していきたいと思っております。残暑が厳しい毎日が続きますので、皆さまもご自愛ください。

広報委員 / 岩崎勝也、高見友郁、大場智子、佐々木香織、鈴木郁苗、種本佳奈恵、村岡千成実、岡崎倫子、武田はるか

おしらせ

ボランティアの方を募集しています

・利用者様へのお茶出し ・お話し相手など

場所 ながまち荘デイサービス

時間 9:30 ~ 16:40 のなかで要相談

問合せ先 ながまち荘(代表) 023-684-2391

業務主査 手塚 敬一郎